

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月20日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102542
法人名	社会福祉法人 愛心会
事業所名	グループホーム 桜
所在地	鹿児島県鹿児島市下福元町9057番地 (電話) 099-210-8655
自己評価作成日	平成26年2月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月11日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

桜の木々に囲まれ自然環境に恵まれている。それぞれの居室にトイレと洗面台があり、プライバシーが確保されている。2ユニット全利用者を把握し関われるよう職員がユニットに捉われない勤務体制を取っている。また、利用者も自由に行き来できる様な馴染みの関係も出来ている。隣接するケアハウスの方々とも交流がある。町内会の行事に参加し地域密着に取り組んでいる。AEDの設置もあり、急変時の初期対応が出来るよう備えている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は周囲が緑に囲まれ、季節の花や野草等、季節感あふれ、入居者も日々自然を満喫している。散歩中、併設施設の利用者との交流もでき馴染みの関係を継続している。
- ・管理者と職員は、なんでも話せる関係にあり、職員各自が資格習得や研修に頑張っており、資質向上を目指している。
- ・事業所は、行事や運営推進会議・家族会等の時間を有効に活かして、本人や家族がともに過ごせる時間を大切にしている。家族と職員との交流も深めて、運営に活かしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	目の届く所へ理念を掲げ毎日唱和をすることで職員への意識付けをしている	全職員が理念を共有し、毎日の申し送り時に唱和し、カンファレンス時にも話し合っている。玄関やリビング等、目につくところに理念を掲示し、確認しながら日々のケアにつなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	民生委員を交え地域の行事（夏祭り・清掃作業・文化祭）へ参加している。中学生の職場体験の受け入れをしている。	町内会に加入し、夏祭りや清掃作業等の地域行事に参加している。中学生の職場体験学習や大学生の職場実習等の受け入れをする等、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の総会や清掃作業へ参加し認知症についての説明をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて意見交換が出来ている。外食や家族会も一緒に行なっている。	会議は定期的に行われ、ホームの行事や家族会等と同じ日に行うこともある。ホームの活動報告や利用者の状況・外部評価結果報告等を話し合い、そこでの意見等を運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護受給者がおり、保護課との連携が取れている。	市の担当者とは、日頃から何でも相談し、連携を取っている。福祉担当職員の月1回訪問があり、事業所の実情等を伝え、協力関係を築いている。地域包括支援センター職員とも連携を取っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設け、毎月カンファレンスにて検討会議をしている	毎日のカンファレンスや日々のケアの中で身体拘束をしないケアについて取り組んでいる。職員のみでなく家族も交え具体的な行為について話し合いを行っている。日中、玄関の施錠はせずに、職員の見守りで自由な暮らしを支援している。身体拘束廃止委員会を設置し、研修をしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会にて学び情報を共有している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修や勉強会にて学び情報を共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	十分に時間をかけて説明を行っている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	お気づき箱の設置、介護記録へ面会時の要望を記録している	利用者からは日頃の会話を通して意見や要望を聞き、記録するようにしている。家族からは行事参加時や家族会・面会に来られる家族も多く、意見や要望等を聞くように努めている。解決できることは早めに対応しサービスに反映している。	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月2回の職員会議やカンファレンスにて日頃からコミュニケーションをとれる環境づくりに努めている	管理者と職員は何でも話せる関係にあり、職員会議やカンファレンスで、職員が働きやすい職場を目指して、意見や提案を聞いて話し合い、運営に反映させている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	運営者と管理者とで意見を交換できる体制を整えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	カンファレンスでの勉強会や各研修に参加している			
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	月1回の地域での勉強会、研修に参加している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	十分にアセスメントを行い対話をすることで不安を軽減できるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ささいな事でも、連絡を密にしご家族の思いに耳を傾け信頼関係を築けるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人ご家族よりの情報を踏まえた上、サービスを提供できるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いを共感し合える環境づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の思いに添えるよう御家族と共に環境づくりに努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みにしている、友人・知人の面会時には、その方との時間を大切にさせていただく環境作りを行なっている。	家族や友人へ手紙を書いたり、電話の支援をしている。友人・親戚が訪ねてきている。馴染みの店へ買い物にでかけたり、美容室や墓参りに家族と出かけたり、本人の付き合いや場との関係が途切れないように家族と話し合い、支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	多くの利用者が居間に集いコミュニケーションが図れている。ユニットに捉われない関係性が出てきている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後にもご家族の面会があり相談にのっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いに近づけられるようなサービス提供に努めている	利用者のこれまでの暮らしを本人や家族から聞き、日々のケアの中で会話をしながら思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は、家族や職員と相談しながら、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や関係者から情報を得ている（生活歴など）		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェックを行い身体状態や生活リズムを尊重している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで意見を出し合い担当者会議・モニタリングを十分行っている	毎日のケース記録、連絡帳を通しケアのあり方について話し合っている。3ヶ月毎にモニタリングをしている。6ヶ月毎に介護計画を作成している。本人・家族・担当医・職員等とカンファレンスを行い介護計画を作成し、現状に即したケアを提供している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状態を、個々のケース記録や連絡帳に記載し職員間で情報共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスに捉われず、その時々ニーズに対応できる様取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	教育実習生、職場体験実習生の受け入れをしている。民生委員との2ヶ月に1回の意見交換も行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医にて月2回の訪問診療を受けている。ご家族にも御協力頂き他病院等の受診も行っている。本人の希望の受診も出来ている	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は家族支援になっているが、必要時職員も同行し連携を保っている。協力医療機関から月2回の訪問診療や訪問看護がある。適切に医療が受けられるように連携を取りながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護師に気軽に相談出来ている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には、頻繁の面会や連絡にて本人の状態を把握できている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご家族とは早い段階で話し合いを行い、関係医療との連携をとりながら支援に取り組んでいる	利用開始時に本人・家族に事業所の方針を伝え、重度化や終末期について事業所でできることを説明し同意を得ている。希望により関連医療施設につなぐ体制もできている。早い段階から本人や家族・主治医・職員と話し合いながら状況の共有を図り支援に努めている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	AEDが設置されており、初期対応を速やかに行なえるような実践力も身につけられるよう研修を行なっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署の協力を得て消防訓練を行っている（夜間想定含む）。地震・土砂・風水害のマニュアルを作成し、民生委員の方も参加して頂き周知している</p>	<p>消防署の協力を得て火災訓練を年に2回実施している。梅雨前には土砂災害も視野に入れて訓練を行っている。夜間想定に力を入れ取り組んでいる。運営推進会議で地域の協力の声をかけている。非常用食料も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、自尊心を傷つける様な態度や言動を慎み対応している。	職員は、利用者一人ひとりの人格を尊重しながら日々のケアを行っている。プライバシーや誇りを傷つけないような言葉かけをしている。トイレ誘導時など、常に自分の対応を振り返り人格を傷付けないように気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう援助・助言を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを考慮し、尊重し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	化粧品の購入、訪問美容や美容室へ出掛けたりして、おしゃれが楽しめる環境作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に好物や旬の食材を取り入れたり行事食で食事を楽しめる工夫をしている	利用者の状態に合った食事形態の工夫をしている。誕生日食やそうめん流し・年間の行事食・外食も取り入れている。利用者と職員は、食事の準備・片付けも一緒に行っている。行事のときには献立の希望も聞いて食事が楽しみになるように工夫しながら支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事形態摂取状況を毎日チェックし記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援を行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄の習慣や時間を把握する。声掛けや誘導で、自室トイレで排泄できるよう支援してしてる。	利用者の排泄のリズムやパターンを把握していて、さりげなく誘導している。布パンツの利用者もできるだけトイレ誘導の声かけに気を配りながら排泄支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食品の工夫、水分補給、身体を動かす機会を設けるよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご本人の希望を踏まえ週3回入浴して頂いている。毎日入浴される利用者もいる	入浴は曜日を決めて午前中に入浴しているが、毎日入浴される利用者もいる。いつでも入浴できる準備ができている。浴槽は個浴で楽しみのひとつになっている。入浴を嫌がる入居者にはことばをかけ自己決定できるようにしている。声かけを工夫しながら気持ちよく入浴ができる様に支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに合わせて昼寝をしたり、テレビを見られたりし安心して頂ける様支援している		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に薬情のファイルがすぐ手の届く所にあり、情報の共有が出来ている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々にあった役割（台拭き・ゴミ捨て・モップがけ）を持っていただくことで張り合いのある生活をして頂いている</p>			
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>個々の体調や希望、天候に合わせて散歩・買い物に出掛けている。季節行事や地域行事は家族や地域の方の支援を頂いている</p>	<p>一人ひとりの希望に添って近隣の散歩や買い物に出かけている。地域行事にも参加し、初詣や花見・そうめん流しに家族や地域の方にも協力をもらいながら外出支援を行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の協力を得て、少額のお金を持っている</p>			
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者の希望に応じて随時電話や手紙を出せる様支援している</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった飾り付けや写真を貼っている。日向ぼっこの出来る廊下にはソファがあり心地よく過ごして頂ける様工夫している	共用空間はキッチンや食堂・リビングが一体化し、職員も入居者の表情や行動が見え全体の把握につながっている。広いリビングは明るく季節の花や飾りがあり、畳やソファが置いてあって、好きな場所で居心地良く過ごせるように工夫がなされている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子やソファを置き孤立せず心地よい空間を作っている			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が心地よく過ごせるよう使い慣れた家具や電化製品・仏壇など置き心地よく生活できる空間作りをしている	本人と家族が相談して、仏壇や箆笥・テレビ・花鉢・家族写真等、使い慣れたものや好みの物を居室に持ち込み、本人にとって居心地良く過ごせる配慮がなされている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせ、手すり、目印などにて安心自立した生活が送れるようしている			



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない